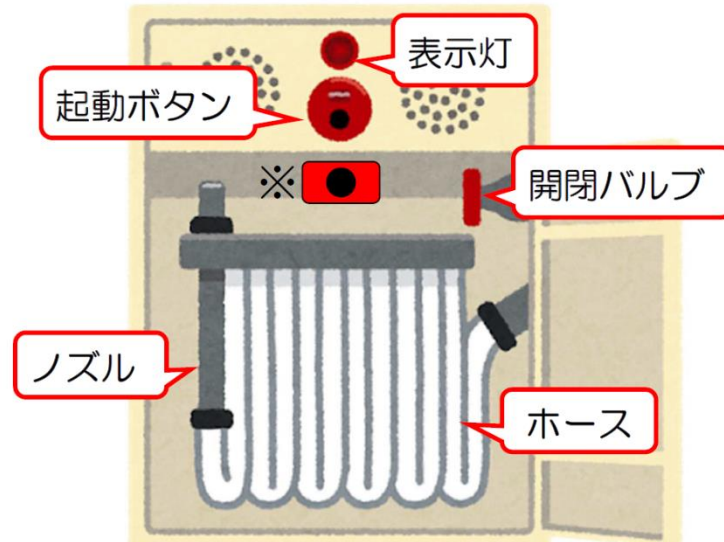


【屋内消火栓設備】

1 屋内消火栓設備について（1号消火栓）

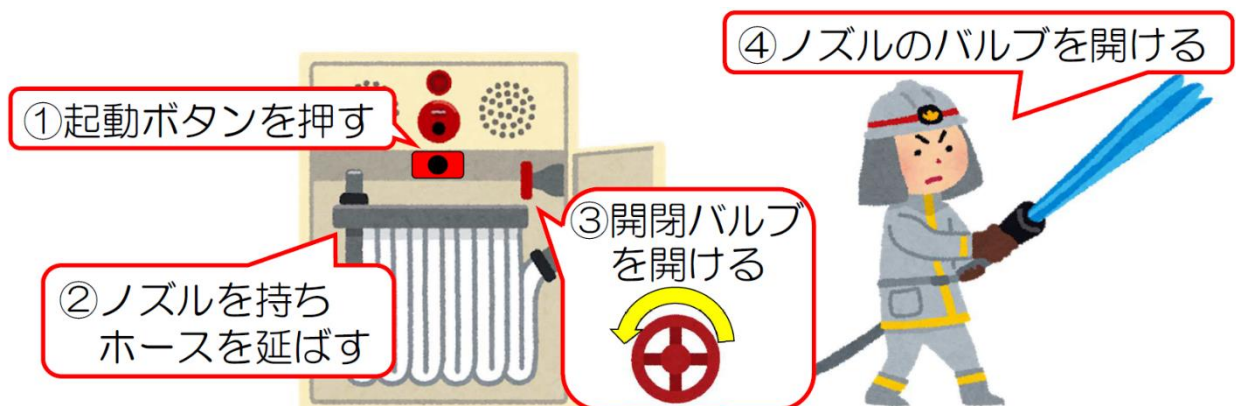


※屋内消火栓設備のポンプ起動ボタンと自動火災報知設備の発信機は兼用されていることが多く、通常点灯している表示灯が点滅することでポンプが起動したことを確認することができます。
自動火災報知設備の発信機と連動していない場合は、消火栓箱内に起動ボタンがあります。

2 使用方法

【1号消火栓】（2人以上で操作）

- ①起動ボタンを押す。（発信機と連動しているものは発信機を押す。）
- ②ノズルを持ちホースを延ばす。
- ③開閉バルブを開ける。
- ④ノズルのバルブを開け、火元に向けて放水する。



【易操作性1号消火栓及び2号消火栓】（1人で操作可）

- ①開閉バルブを開ける。
- ②ノズルを持ちホースを延ばす。
- ③ノズルのバルブを開け、火元に向けて放水する。

3 注意事項

- (1) 起動ボタンを押さなかった場合、ポンプが起動していないため、配管内に充水された水が出るだけで、水の勢いが足りず火を消すことができません。
- (2) 起動ボタンを押してもポンプが起動しない（表示灯が点滅しない）場合は、自動火災報知設備の受信機が消火栓連動停止（起動ボタンを押しても起動ボタンからの信号が屋内消火栓のポンプに届かない）状態となっている可能性が考えられます。

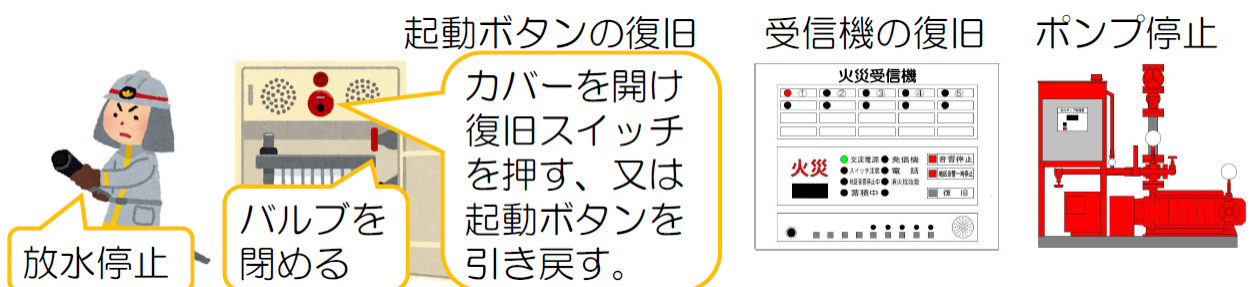
この場合、①受信機の連動停止ボタンを解除して再度起動ボタンを押す、②ポンプ室へ行き直接ポンプを起動するの2通りの対処方法があります。



4 消火の確認後

(1) 1号消火栓

- ①ノズルのバルブと開閉バルブを閉める。
- ②起動ボタンを復旧する。
- ③自動火災報知設備を復旧する。（9ページ参照）
- ④ポンプ室へ行き、ポンプ制御盤の停止ボタンを押す。



※バルブのない（放水停止のできない）ノズルもあります。

(2) 易操作性 1号消火栓又は2号消火栓

- ①ノズルのバルブと開閉バルブを閉める。
- ②ポンプ室へ行き、ポンプ制御盤の停止ボタンを押す。

※復旧とは消防用設備等を正常な状態に戻すことをいいます。